あさひやまどうぶつえんニュース

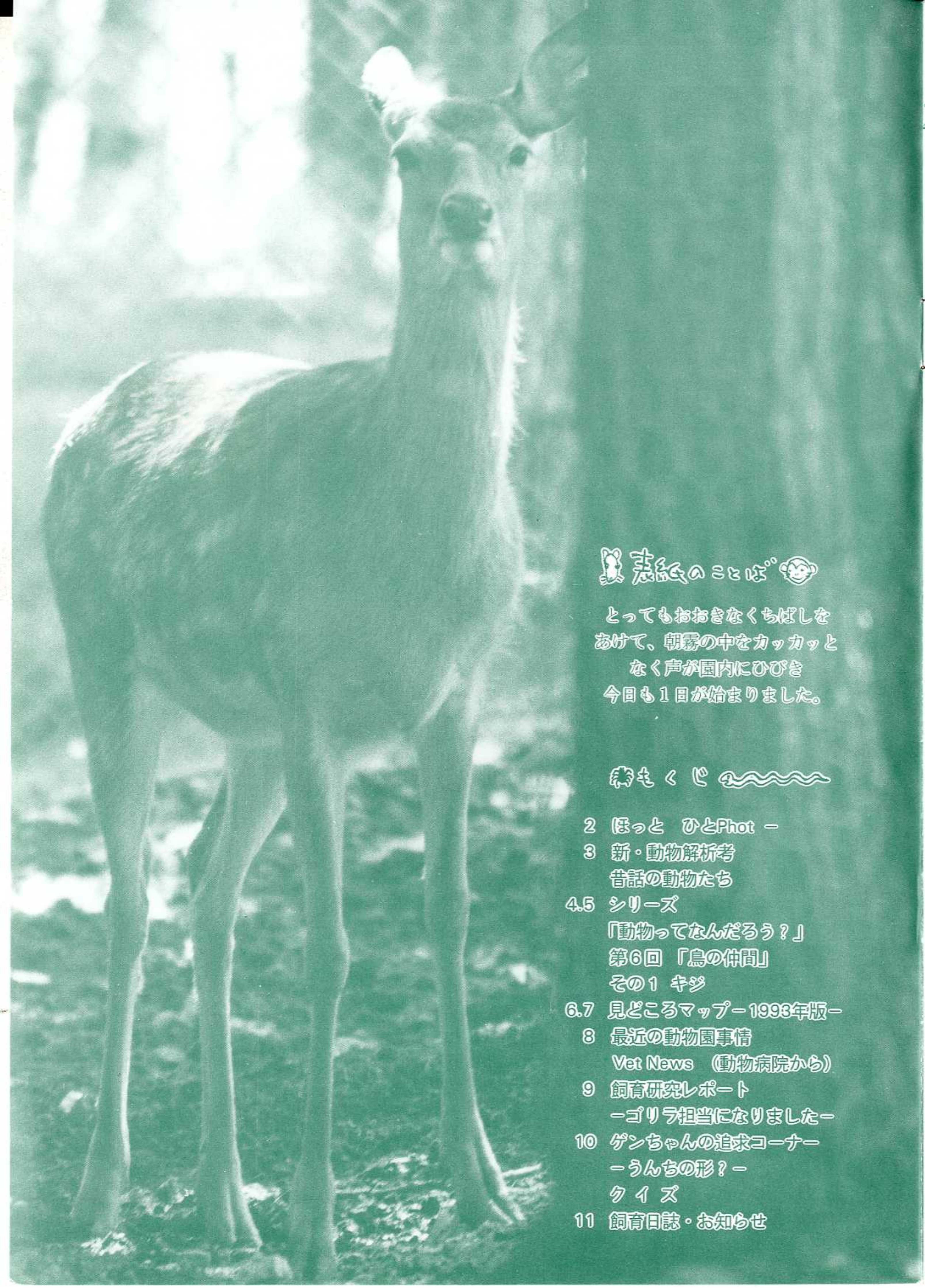
ASAHIYAMA ZOO NEWS

モユク★カムイ

☆モユク・カムイとはアイヌ語で
「エゾタヌキ」のことです。

オオワシ
Haliaeetus pelagicus

NO. 32
APRIL
1993

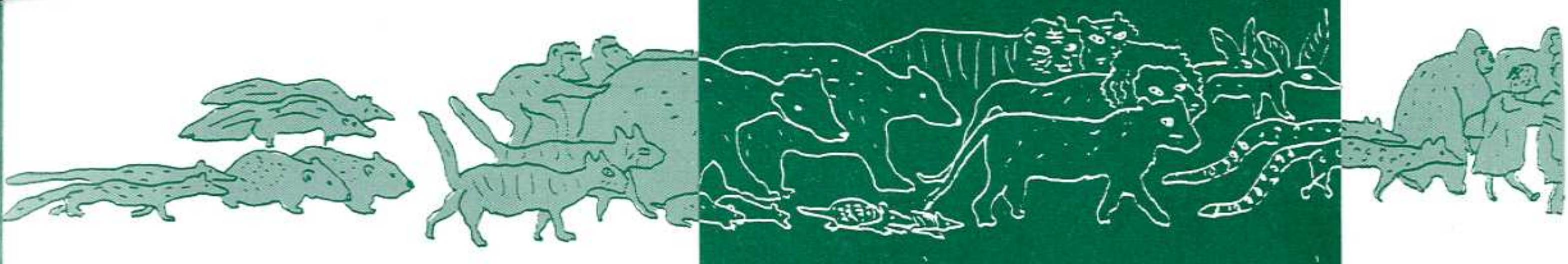


表紙のことば

とってもおおきなくちばしを
あけて、朝霧の中をカッカッと
なく声が園内にひびき
今日も１日が始まりました。

もくじ

2　ほっと　ひとPhot －
3　新・動物解析考
　昔話の動物たち
4.5　シリーズ
　「動物ってなんだろう？」
　第6回　「鳥の仲間」
　その１　キジ
6.7　見どころマップ－1993年版－
8　最近の動物園事情
　Vet News　（動物病院から）
9　飼育研究レポート
　－ゴリラ担当になりました－
10　ゲンちゃんの追求コーナー
　－うんちの形？－
　クイズ
11　飼育日誌・お知らせ



新・どうぶつ解析考

むかしばなし

さるかに合戦

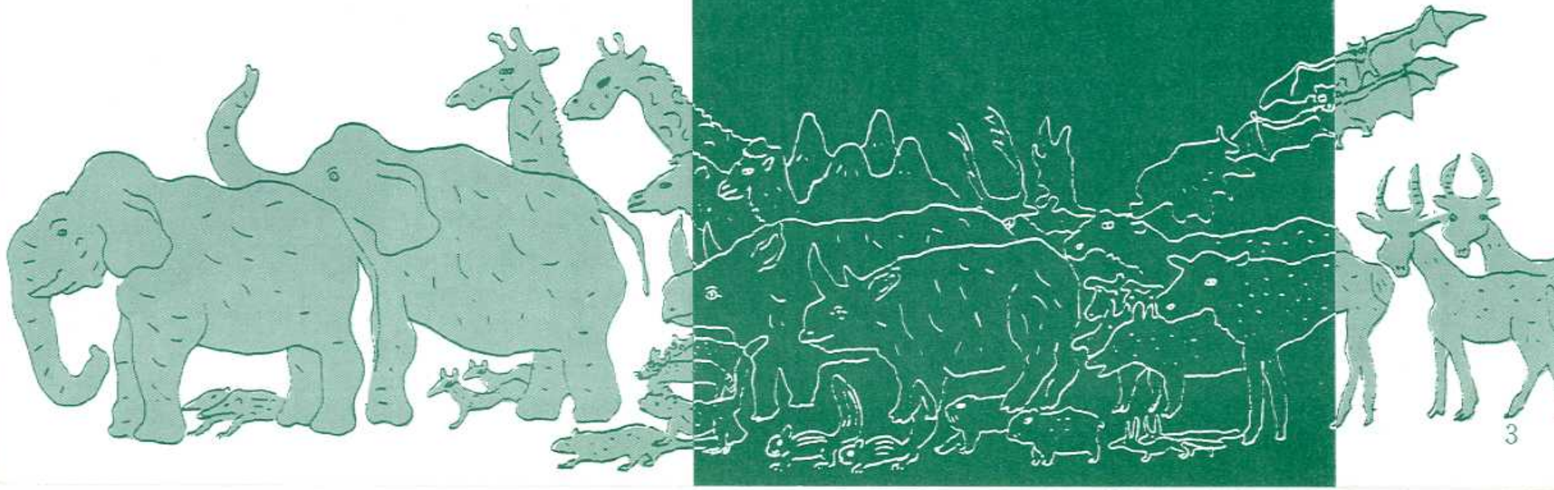
この民話は本州・四国・九州・沖縄と、北海道を除く日本国中いたるところに、その地方に伝わる民話として保存されている。話の内容も登場人物(?)も、少しずつ違っており、伝承された地方で、それぞれ身近なものを加えたり、差し替えたりして変化していったのだと思われる。

主人公のサルとカニは共通しているのだが、仇討ち（あだうち）の助力者には有名な臼（うす）、栗（くり）、蜂（はち）のほか、ムカデやスズメ、ニワトリ、ネズミ、ウマ、カメといったたくさんの動物が登場している。おもしろいのは牛糞（ふん）で、これはかなりの地方にみられる。なぜ馬糞が登場しないのか不思議だ。また、針とか杵（きね）、みそへら、ほうきなどの道具類も仇討ちに参加している。

ところで、なぜ青森まで伝承されてきた「猿蟹」が北海道に伝わらなかったのか。ブラキストン線が問題なのでだろうか。北海道の歴史の浅さ（もちろん和人のですが）を考慮にいれても、屯田兵の間に語り継がれなかったのは不思議である。しかし、ここに登場するサルとはもちろんニホンザルであり、カニは、決して毛蟹ではなく、サワガニだろう。とすれば北海道に伝わるはずがない。どちらも北海道には分布しない動物だからだ。なおかつ争いの種となる肝心の柿も自生しないとなれば、青森で止まったのも納得できる。

主人公がヒグマとサケとリンゴであれば間違いなく、北海道版ができたと思われるのだが・・・。

資料提供
旭川はないちもんめ文庫



動物ってなんだろう

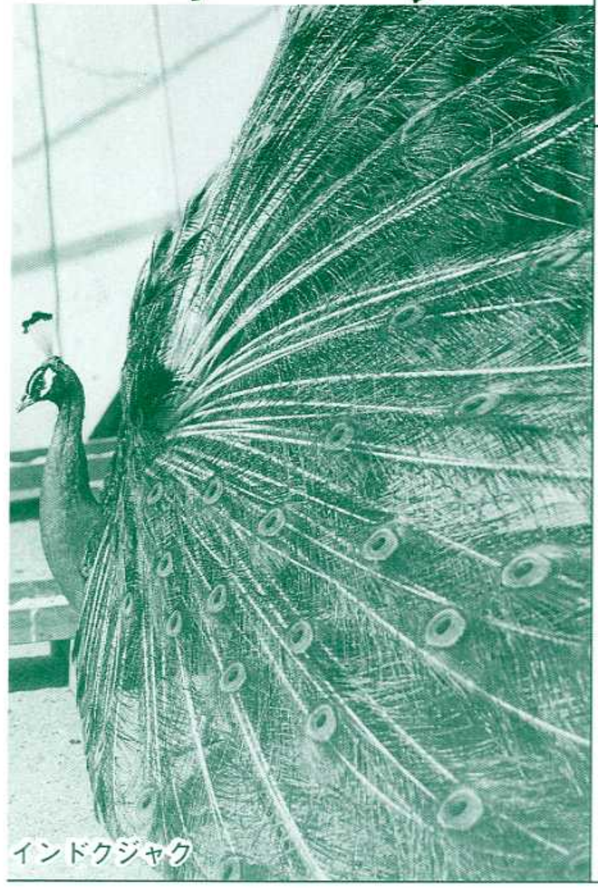
第6回 「鳥の仲間」

今年は“酉年(とり)”。
そこで旭山動物園で飼育している鳥たちを中心に、
4回に分けてお話していきます。
まず第1回目はキジの仲間です。

ハイイロコクジャク

その1

キ　ジ


インドクジャク

●キ　ジ　目

広い意味でのキジの仲間（キジ目）としては、キジ科のシチメンチョウ、キジ、ライチョウ、ハウズラ、ホロホロチョウの各亜科とツカツクリ科、ホウカンチョウ科に分類され、現在、地球上に3科74属266種が生息している。

なかでも私たちになじみの深い仲間はキジ科の鳥たちで、動物園でもたくさんの種類が飼育されている。

●いわゆるキジの仲間について

ふつう“キジ類”というとキジ科（59属210種）のもの、特に羽色が美しく、尾が長く、比較的大型のものを指すようだが、このグループには16属48種が分類されており、アフリカにすむコンゴクジャク1種を除いて、すべてアジア、特にヒマラヤ、中国、インド、東南アジアに分布している。

オスは色彩鮮やかな羽色をしており、声も大きい。その代表的なものはクジャク、キンケイ、ハッカンなどで旭山動物園で見ることができる。一方メスは地味な羽色をしており、体もオスに比べて小さい。オスの派手な羽色は繁殖期に最高潮となり、求愛行動も種によってさまざまなディスプレイが観察される。クジャクがたくさんの美しい目玉模様のある上尾筒を扇のように広げるのもその1例だ。

孵化したヒナは数時間以内に巣を離れ、親鳥の後をついて歩き、えさも自分で食べる。1週間もすれば飛ぶこともできるようになる。

キジの分類

キジ目		種数
ツカツクリ科		12
ホウカンチョウ科		44
キジ科		
	シチメンチョウ亜科	2
	キジ亜科	154
	ライチョウ亜科	16
	ハウズラ亜科	31
	ホロホロチョウ亜科	7

日本のキジ

日本にはライチョウ亜科2種とキジ亜科5種の合計7種が生息している（表1）。そのうち、コジュケイは中国南部と台湾に分布しているものだが、1919年に東京都と神奈川県で放鳥されたのを手始めに各地で放鳥され、現在では北海道を除く日本各地で見られるようになった。北海道でも、在来種としてエゾライチョウとウズラが分布していたが、戦後狩猟鳥として大陸原産のコウライキジが放鳥され、道内に広く繁殖している。

日本のキジ	
ライチョウ亜科	
ライチョウ	*Lagopus mutus*
エゾライチョウ	*Bonasa bonasia*
キジ亜科	
ウズラ	*Coturnix coturnix*
ヤマドリ	*Syrmaticus soemmerringi*
ニホンキジ	*Phasianus versicolor*
コウライキジ	*Phasianus colchicus*

旭山動物園のキジ

旭山動物園では9種71羽のキジ科の鳥が飼育されています。

シチメンチョウ	11
ホロホロチョウ	6
インドクジャク	27
インドクジャク(白)	5
ハイイロコクジャク	4
ハッカン	6
ミミキジ	2
キンケイ	7
ミカドキジ	2
エゾライチョウ	1

ミミキジ

キジ（コウライキジ）

Phasianus colchicus

嘴 くちばし
短くするどい
種子や昆虫、
ミミズ
など地表の
ものを食べる

翼 つばさ　短距離飛行者
つばさは短めで丸い
危険から逃れるとき爆発的なすばやい羽ばたきで飛び立つ以外、あまり飛ばない

からだつき
丸みのある
がっしりとした体

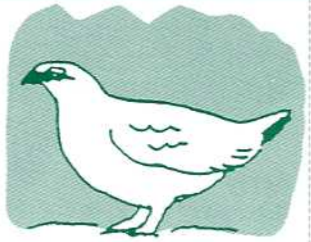
留鳥 渡りはしない
夜は樹上でねる

けづめ オスにある
闘いに使う

巣 地上、草むらに
簡単なものを
つくる

あし 短いがじょうぶ
地上で生活するため
走るのも早い

北海道にすむキジ＝エゾライチョウ


●ニホンライチョウ

北海道にはキジは生息していませんが、昔から「ヤマドリ」と呼ばれる『エゾライチョウ』がおります。ライチョウの仲間（キジ目ライチョウ亜科）はキジの仲間ですが、ユーラシア大陸、北アメリカ大陸北部の針葉樹林帯やツンドラ地帯にすみ、木の葉、芽、花、種子、昆虫などを食べています。日本には本州の中央高地にすむニホンライチョウと北海道にすむエゾライチョウの2種が分布しています。かつて北海道の至る所に生息していたエゾライチョウも最近ではめっきりその数がへり将来が心配されています。ニホンライチョウは特別天然記念物であるのに対しエゾライチョウはいまだに狩猟鳥のままです。今のうちに何とか保護の対策を考えておかなければ、あとでトリ返しのつかないことになっては大変です。

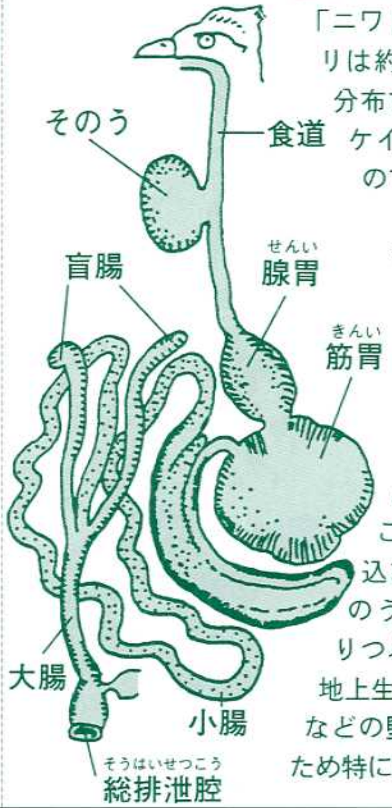
●エゾライチョウ

砂を食べる？

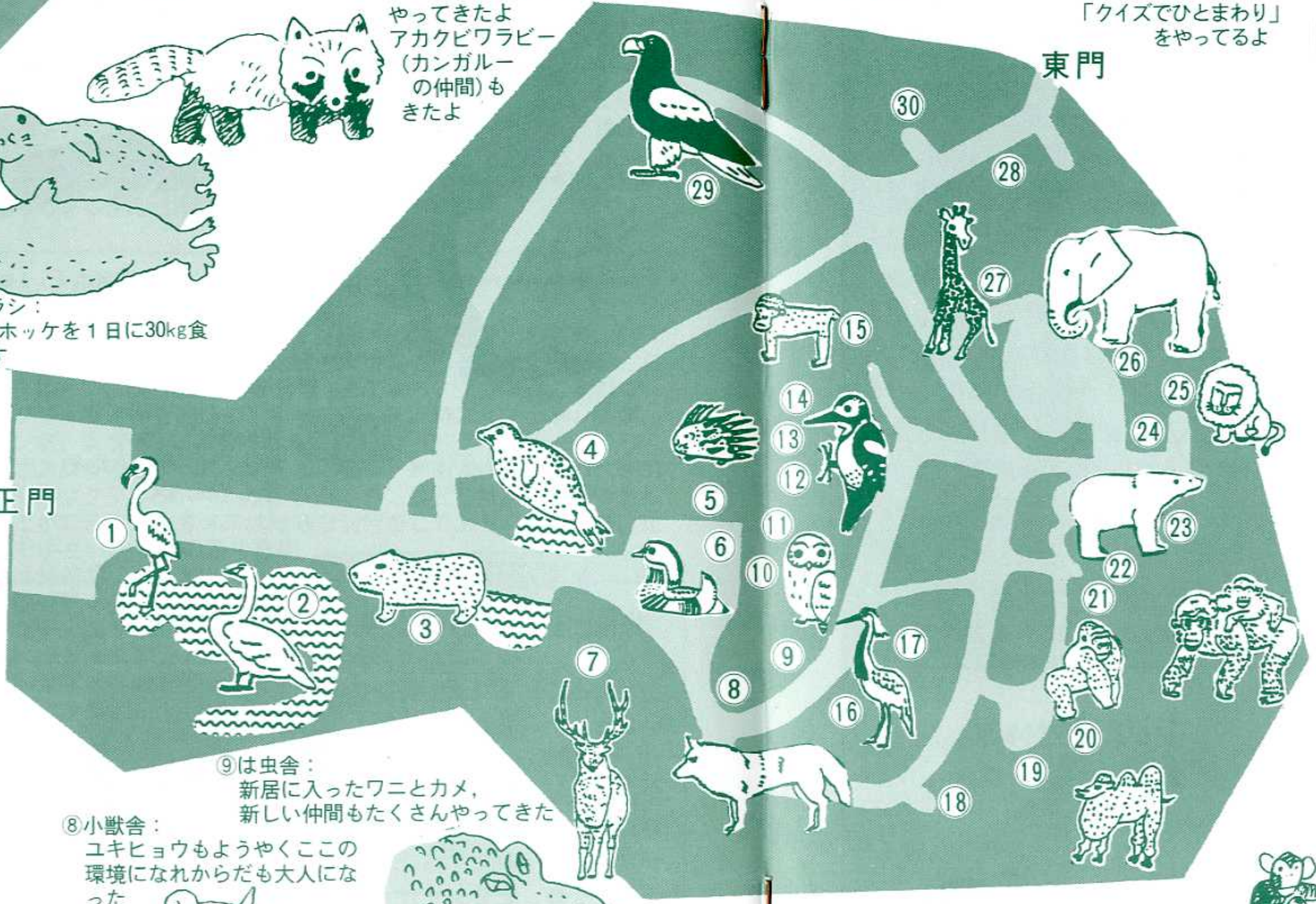
私たちに一番身近なキジの仲間は「ニワトリ」でしょう。ニワトリは約5000年前アジア南部に分布する野鶏（セキショクヤケイなど）を家畜化したものです。

ニワトリを解剖してみると食道の途中が膨らんでおり（そのう）胃に続いています。胃は腺胃と筋胃に分かれており下の胃（筋胃＝砂のう）の中にはたくさんの砂が入っています。この砂は餌と一緒に飲み込まれたもので、筋胃（砂のう）にためられ、餌をすりつぶす役目をしています。

地上生活するキジの仲間は種子などの堅い食べ物を多く食べるため特に筋胃が発達しています。



1993ねん版 あさひやまZOO みどころマップ



①フラミンゴ：
大きくて赤いベニイロフラミンゴ、大きくてくちばしがピンクなのがヨーロッパフラミンゴ、小さくてピンクの羽根がチリーフラミンゴ
3種類で20羽います

②水鳥たち：
春は水鳥たちの季節，スイスイ

③カピバラ：
とっても大きいけどネズミの仲間なんだ

④アザラシ：
6頭でホッケを１日に30kg食べます

⑤小動物舎：
かわいいレッサーパンダがやってきたよ
アカクビワラビー（カンガルーの仲間）もきたよ

⑥フライングケージ：
あちこちでカモが卵を抱いているよ

⑦ワピチ：
オスの角はだんだん伸びてくる、夏にはとっても立派になり秋に完成

⑧小獣舎：
ユキヒョウもようやくここの環境になれからだも大人になった

⑨は虫舎：
新居に入ったワニとカメ，新しい仲間もたくさんやってきた

⑩フクロウ：
当園自慢のフクロウたちです

⑪キレンジャク：
旭川市民の鳥、とてもきれいな声で鳴いています

⑫ユキウサギ：
みんながよく知っているカイウサギとどこが違うかな？

⑬エゾリス：
早起きです。お昼には巣の中で昼寝です

⑭野鳥：
ここでバードウォッチングの練習はいかが？

⑮サル山：もうそろそろ“お年頃”今年は何頭の赤ちゃんが産まれるでしょう？
（ニホンザル）

⑯クジャク・キジ類：
クジャクのオスの“パッとひろげ”は5～6月が最高潮

⑰タンチョウ：
丹頂は“頭のてっぺんが赤い”という意味

⑱エゾシカ：
6月に赤ちゃんが産まれます，さてどこにいるかな？

⑲フタコブラクダ：
春のラクダは，なんかボロボロ

⑳ゴリラ：
ゴンタの土投げはあまり見られなくなった

㉑チンパンジー：
運動場に楽しい遊び道具が完成，どうやって遊ぶかな？

㉒サルアパート：
テナガザルの大きく響く声，聞いた？ジェフロイクモザルのしっぽ，見た？
ワオキツネザルの日向ぼっこ，見た？

㉓ホッキョクグマ：
お客さんに向かって，ザッブーン！
これが大好き

㉔ダチョウ・エミュー：
ダチョウのオスは踊りが大好き
見れたらラッキー

㉕ライオン・トラ：
食事は夕方，１頭で6kgの馬肉をぺろり

㉖ゾウ：
ゾウの鼻はとっても器用
鼻だけじっくり観察しよう

㉗キリン：
背の高さは何mかな？
うしろの壁に“ものさし”があるよ

㉘カバ：
去年うまれた子どもはみるみる大きくなった
かわいさ100%

㉙ワシ・タカ舎：
朝方にはよく鳴いています
大きな声はよく響く

㉚資料展示館：
貴重な動物の標本（剥製や骨格）がたくさん。
動物大発見「クイズでひとまわり」をやってるよ

動物園事情 －お天気商売－

動物園はお天気商売だとよく言われる。晴れれば“大入満員”（でもないが)、雨が降れば“開店休業”である。これは現実だ。なぜなのだろう。傘をさしてまで、動物園を楽しんでくれる方が少ないからである。ほとんどの人にとって、動物園は「天気もいいし、行くところがないから動物園にでも行くか」という所のようだ。目的を持って動物園に来てくれる人は、ほんの一握りの動物園愛好者でしかない。残念ながら。

昨年の「夜の動物園」は連日の雨にたたられ、入園者数は例年に比べ随分と少なかった。しかし、雨の中傘をさしながら、ご家族で友だち同士で動物たちに声をかけておられる姿を見ると、やはり動物園を好きな人が結構いてくれるなぁと、感激してしまう。きっと多くの皆さんは「雨の動物園」のすばらしさをご存じないのだろう。どのようにしてＰＲしようか？　やはり来ていただくしか方法はない。

●保護されたキレンジャク

Vet.News
－動物病院から－

３月にはいると、暖かいところで越冬していた渡り鳥たちが、繁殖のために北の地に帰ってきはじめます。キレンジャクもその一種です。ただキレンジャクは北海道では繁殖せず、もっと北のロシアまで北上します。今年は旭川市内でもたくさんの群れが翼を休めているようです。動物園に持ち込まれる傷ついたキレンジャクの数からもそれがうかがえます。持ち込まれた個体のほとんどがガラスにぶつかって脳震盪(のうしんとう)を起こしたものです。人が見つけられるところで動けなくなっている野生鳥獣は、殆どすべて人がつくったものや環境が原因でそうなってしまったと考えていいでしょう。過失無しの被害者だと思います。

動物園に収容されたキレンジャク、僕は野生に帰す気はありません。群れからはぐれて、しかも病み上がりのような状態で無事に繁殖地にたどり着くことは不可能だと思うからです。群れでいるのは、固まって飛ぶことで体力の消耗を少なくし、敵に襲われたとき目標を定めにくくして身の安全を図るためです。１羽でふらふらと空に舞い上がるのは自殺行為に等しいのです。

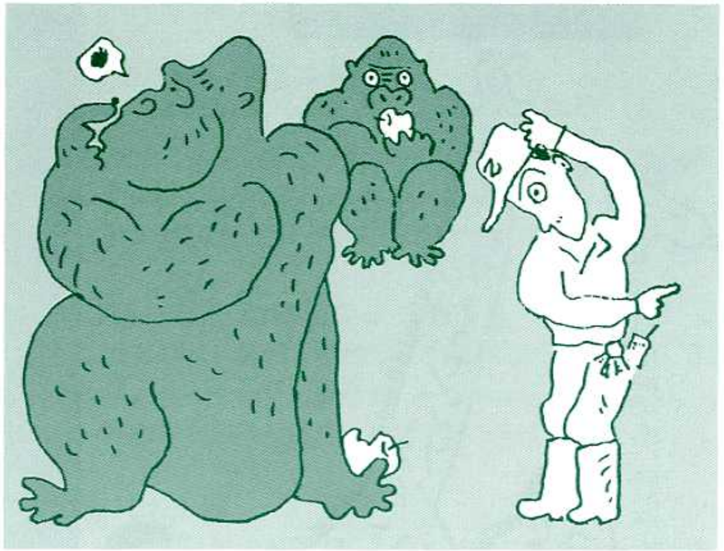
では保護されたキレンジャク、これからどうなるの？　もう大空を飛べないのなら生きていたって意味がないじゃない、そう思われるかも知れません。でも飼育、繁殖の技術を確立すること、キレンジャクを皆さんに間近に見てもらうことは、個体ではなく種を保護しようとする時に絶対に役に立つはずです。もちろん保護された個体は動物園で出来るだけ不自由がないように飼育し、一生面倒を見ていきます。

― 旭山 ZOO の記録 ―

ゴリラ担当になりました

当園のローランドゴリラはメス・マリ（22才）が1974年に、オス・ゴンタ（21才）が1977年にそれぞれ3才と5才というまだ子どもゴリラでやってきました。入園以来18年間ずっと牧田が担当し、順調に成長、マリもゴンタもりっぱな成獣ゴリラになりました。

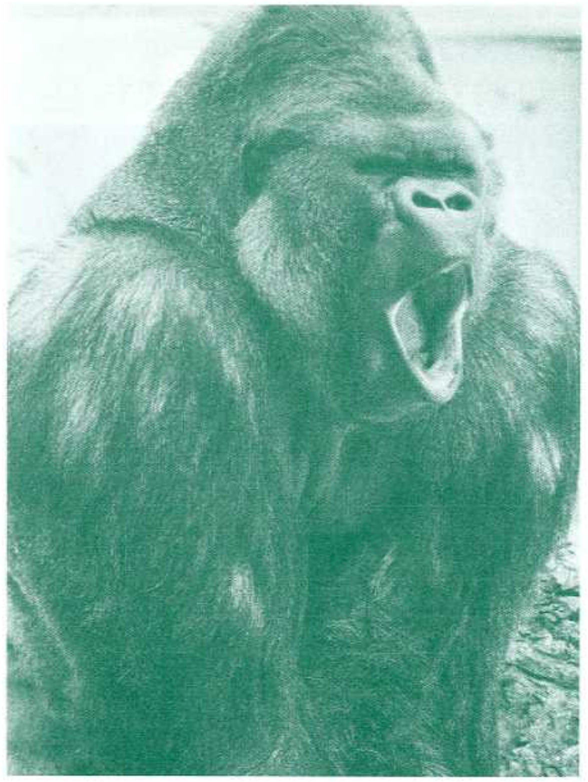
３年前の事になりますが、担当動物の全面的な見直しを図り、ゴリラの担当も変更することとなり、２年間の準備期間をおいて昨年４月から私が担当することになりました。



代番（担当者が休みの時に代わって担当する）として数年間ゴリラと関わってきましたが、やはりゴリラは他の動物とちょっと違うという感覚を持っていましたので、いざ担当となると、「大丈夫だろうか」という心配が半分と「一度はやってみたい」という希望とが半分の気持ちでした。

さて、そんな不安な気持ちでスタートしたゴリラ担当でしたが案の定、子どもの頃から牧田に可愛がられ、牧田を親とも思っているゴリラたちは私を完全に無視し、時にはバカにしたり、遊ばれたりしました。

“遊ばれる”というのは、たとえば朝に外の運動場へ出そうとしても、全く出ようとしないで、部屋の中ででんと腰を落ち着けて、知らん顔をしています。10分も20分も待っても決して出ようとしません。あきらめようとすると、「さ、出ようかな」とでも言うようにやおら腰を上げますが、外を覗くだけでやはり元通りに部屋の中へ逆戻りです。挙げ句の果てにゴリラ舎を出て行こうとすると、扉をドドーンと叩き私を驚かせ、呼び戻します。



でも、食事の方は心配なく、朝昼晩三度の食事は残さず食べてくれました。担当者としては最低限の条件を満たしてくれていたのは何よりでした。献立は二頭分で１日量、白菜10kg、バナナ３kg、さつまいも１kg、人参２kg、りんご１kg、みかん２kg、卵２個、牛乳2000cc、ヤクルト２本、煮干250gです。これを３回に分けて、食べさせますが、もちろんゴンタの方にたくさん与えます（そうしないと機嫌を損ないます）。

さて、私もゴリラ担当としてようやく１年がたちました。もうそろそろ私のことを認めてくれるだろうと思うのですが、いざとなるとまだまだのようです。あと１～２年はかかるかも知れません。ゴリラはすてきな動物ですので、いい友だちになれればと思う毎日です。

（深坂）

げんちゃんの追ポコーナー

小さな疑問から大きな疑問まで、『げんちゃんの追及コーナー』へ、どんどんお送り下さい。採用させていただいた方には、旭山動物園特製“エゾシカの角のキーホルダー”をプレゼントいたします。

Q どうしてウンチの形はいろいろなんでしょう？

旭川市　杉山　けい子さん

A どうしておしりを拭かないの？に続くウンチねた第2弾ですね！

動物が生きて行く基本は食べて出すことですから、ウンチを調べればその動物の事が大体分かる、といっても言い過ぎではないでしょう。今回は形による分類をしてみましょう。

粒つぶウンチこれは肛門の力でウンチを切って出すのではなく既に粒つぶになったウンチを肛門から出すタイプです。ウサギ、シカ、キリン、シマウマ、ゾウなど草食動物は殆どこのタイプです。このウンチの最大の利点は「ふんばらずに」出来ることです。歩きながら、走りながら出来るのです。肛門をゆるめて、ちょっと腹圧をかければポロポロと出るのです。一般的に草食動物は食べられる側の動物です。皆さんがもし食べられる側の動物だとしたら、いちばん危険な姿勢はどんな時でしょう？寝ているとき、ウンチをしている時ではないでしょうか？そう、ウサギやシカは落ち着いてウンチをするわけにはいかないのです。

太くて長いウンチこれは気合いを入れてひねりだして、肛門の力で切るウンチです。もうお分かりでしょう。ライオンやオオカミなど肉食動物のウンチです。

細くて長いウンチそれ程ふんばらないけど、肛門の力で切るウンチです。サルの仲間のウンチです。比較的安全な樹上で生活する時間の長い彼らは、何かあればすぐに逃げれるくらいのふんばり方でウンチをします。

人は細くて長いウンチタイプですが、ウンコ座りをしなければおしりが汚れてしまいます。野外でウンチをしてみて下さい。あの不安感を味わえばウンチをすることがいかに大変なことか分かると思います。

クイズ

さてこれは誰の食事でしょう？
これで１日分です。もちろん１頭分です。

正解者の中から抽選で３名の方に旭山動物園特製“エゾシカのキーホルダー”が当たります。

応募方法　ハガキに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を書いて旭山動物園モエク・カムイ係までお送り下さい。

応募〆切　1993年５月29日

前号のこたえ

正解は飼育係のおじさんでした。
《正解率75%》　全員が正解でした。
おじさん70kg、カピバラ64kgでした。

キーホルダー当選者

旭川市　田淵　弘子さん
旭川市　北　ユキエさん
旭川市　安藤　タエ子さん

飼育日誌《平成5. 1. 23～平成5. 3. 20》

1.24　冬の動物園観察会　その１
1.25　チンパンジー、サル舎
　　　インフルエンザ流行
1.31　Ｚ00ガイド「ガールスカウト24団」
2. 5　Ｚ00ガイド
　　　「北海道教育大学旭川分校」
2. 6　Ｚ00ガイド「旭川市立旭川小学校」
2. 8　ミシシッピワニ　結膜炎治療
2.11　第171回飼育研究会
　　　「飼料業務にあたって」曽我部
2.12　Z00ガイド「旭川福祉専門学校」
2.13　ニホンザル　脱肛治療
2.14　冬の動物園観察会　その２
2.19　東京都多摩動物公園にて研修
　　　高橋　～22
2.20　キリン　出産、死亡
2.24　冬の動物園観察会　その３
3. 2　ヒシクイ　５羽　入園
3. 3　チリーフラミンゴ　死亡
3. 6　Z00ガイド「旭川市立陵雲小学校」
3. 7　チンパンジー　蟯虫検査（陰性）
3.14　オセロット　予防接種　移動
3.21　Z00ガイド「旭川野鳥の会」
3.23　チンパンジー　駆虫

飼育動物数
（４月１日現在）

哺乳類	40種	146点
鳥　類	90種	436点
爬虫類	7種	25点
合　計	137種	607点

おしらせ

◎児童動物画コンクール　作品募集

幼児・小学生対象に動物の絵を募集します。生き生きとした動物の姿を描いて、動物園に届けて下さい。

応募期間は４月29日から８月24日までです。

◎ぬり絵　作品募集

旭山動物園のパンフレットに折り込まれている“ぬりえ”を仕上げて、動物園まで届けて下さい。ぬり絵は８月に園内にて展示致します。

募集期間は4月29日から７月31日までです。

◎第14回　動物園ウォークラリー

６月13日、恒例の春のウォークラリーを開催致します。今回も全問正解にチャレンジしてみて下さい。

参加申し込みの受付は６月７日からです。

◎パネル展

動物資料展示館にて、写真やイラストを使った動物に関する解説などの特別展を行ないます。

今年の第１回目は「動物大発見－クイズでまわる動物園」です。

◎モエク・カムイの申し込み方法

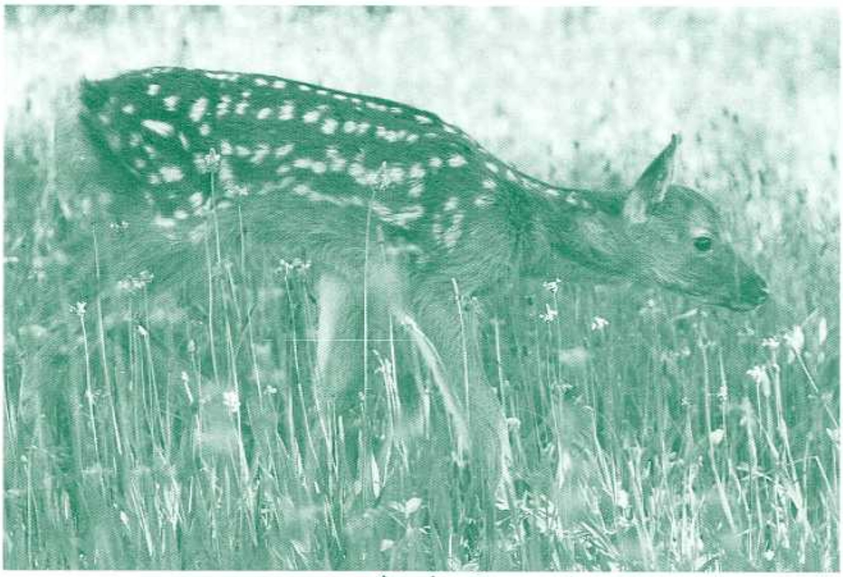
１年分の送料として120円切手を４枚同封して、旭川市旭山動物園モエクカムイ係までお申し込みください。

編集後記

動物園のサルたちにも猛威(もうい)を奮った今年のインフルエンザも、何とか１頭の犠牲者もなく出さずに、無事終焉(しゅうえん)いたしました。動物たちもみな元気に春を迎えております。

新装成った爬虫類舎は、水中にいるワニの姿がご覧いただけます。当園としましては初めての観察プール式動物舎ですので、是非一度覗いてみて下さい。

地球温暖化現象のせいなのか、今年も旭川らしい冬のしばれがありませんでした。１年を通じて暖かいのかというと、夏はそうでもないので、なんとなく年較差が縮まってしまっています。今年の夏は、旭川の夏らしい“あっつい”夏になってほしいと今は願っています。きっとその時には「早く涼しくなってほしい」と勝手なことを言い出すのですが・・・



エゾシカ *Cervus hortulorum yesoensis*

モユク・カムイ No.32 平成5年4月29日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104

発行所 菅野 浩 **編集委員** 小菅 正夫・阿部 寛・坂東 元

印 刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653